



はしかみ

No.51

11月号(November)

議会だより

喜らし人
地域を豊かに



9月定例会

令和3年度決算 黒字継続中

『区長に聞く』

荒谷行政区



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

～小学校巨木めぐり～

9月1日、道仏小学校・階上小学校16名の児童が町内の巨木めぐりをしました。

※定例会・臨時会の議事録は階上町HPに掲載しております。

第6回 9月定例会

令和4年第6回定例会を9月6日開会し、9月9日閉会しました。
今回の議会では、認定1件、報告2件、条例の一部改正1件、条例廃止1件、補正予算6件、その他1件 計12件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で認定、可決しました。一般質問は、4人の議員が行いました。

令和3年度決算を認定

決算内容の詳細については、令和4年10月号の広報はしかに掲載されましたので、前年度との比較を中心にした内容になります。

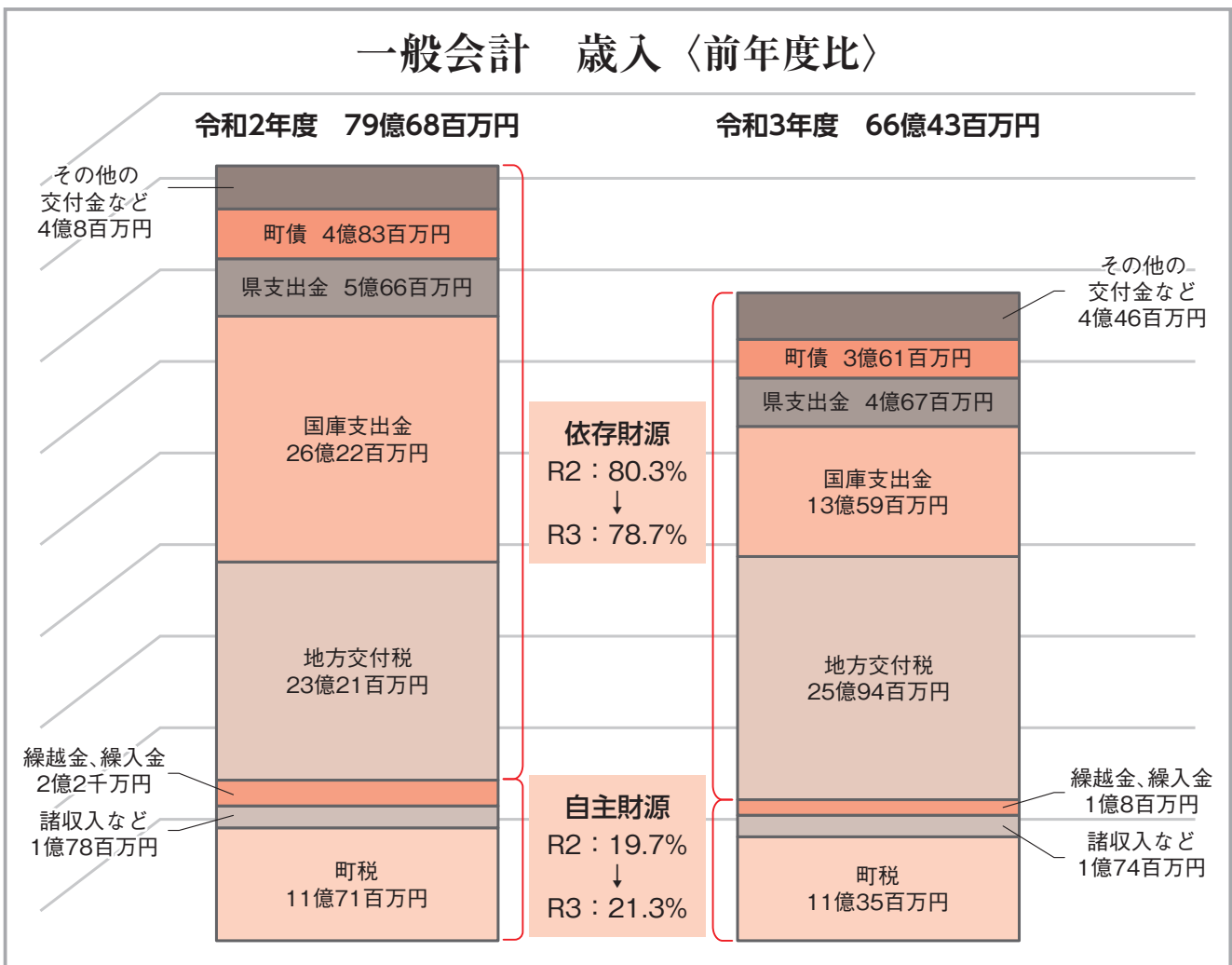
依存財源：78.7% (国・県などから交付・割り当てられるお金)

自主財源：21.3% (町が自力で集められるお金)

**2億8,323万7,413円の
黒字継続中**

歳入 66億4,285万3,927円
歳出 63億5,144万4,514円
翌年度へ繰り越すべき財源
817万2,000円

※金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。



諸収入など：使用料・手数料、分担金・負担金、諸収入など

その他の交付金など：地方消費税交付金、地方譲与税、法人事業税交付金等のその他の交付金

〈増額となった主な理由〉

地方交付税が約2億7千万円増額：算定の基礎として新たにデジタル化が追加されたため

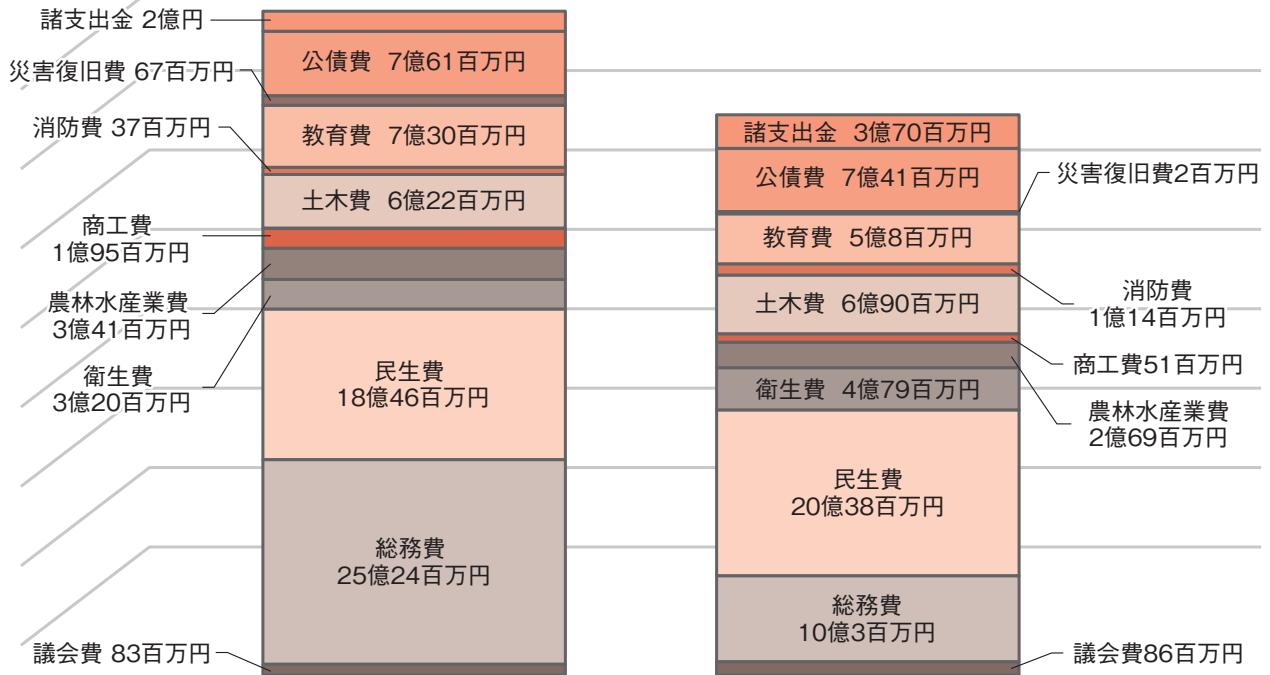
〈減額となった主な理由〉

国庫支出金が約12億6千万円減額：令和2年度に新型コロナウイルス感染症の経済対策として実施した特別定額給付金事業の国庫分が皆減となったため

一般会計 歳出〈前年度比〉

令和2年度 77億27百万円

令和3年度 63億51百万円



〈増額となった主な理由〉

民生費：住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金等が約3億円増額
 衛生費：新型コロナワクチン接種事業が約1億4千万円増額

〈減額となった主な理由〉

総務費：庁舎エアコン整備事業が約1億6千万円減額、特別定額給付金事業が約13億4千万円減額
 教育費：小中学校エアコン整備事業が約1億6千万円減額など

令和3年度 主な事業

【コロナ関係】

- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 138,200千円
住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり10万円支給
- 子育て世帯への臨時特別給付金 166,400千円
児童（18歳未満）1人あたり10万円支給
- 子育て世帯生活支援特別給付金 5,450千円
住民税非課税の子育て世帯に対し、対象児童1人につき5万円給付
- 新型コロナワクチン接種事業費 137,163千円

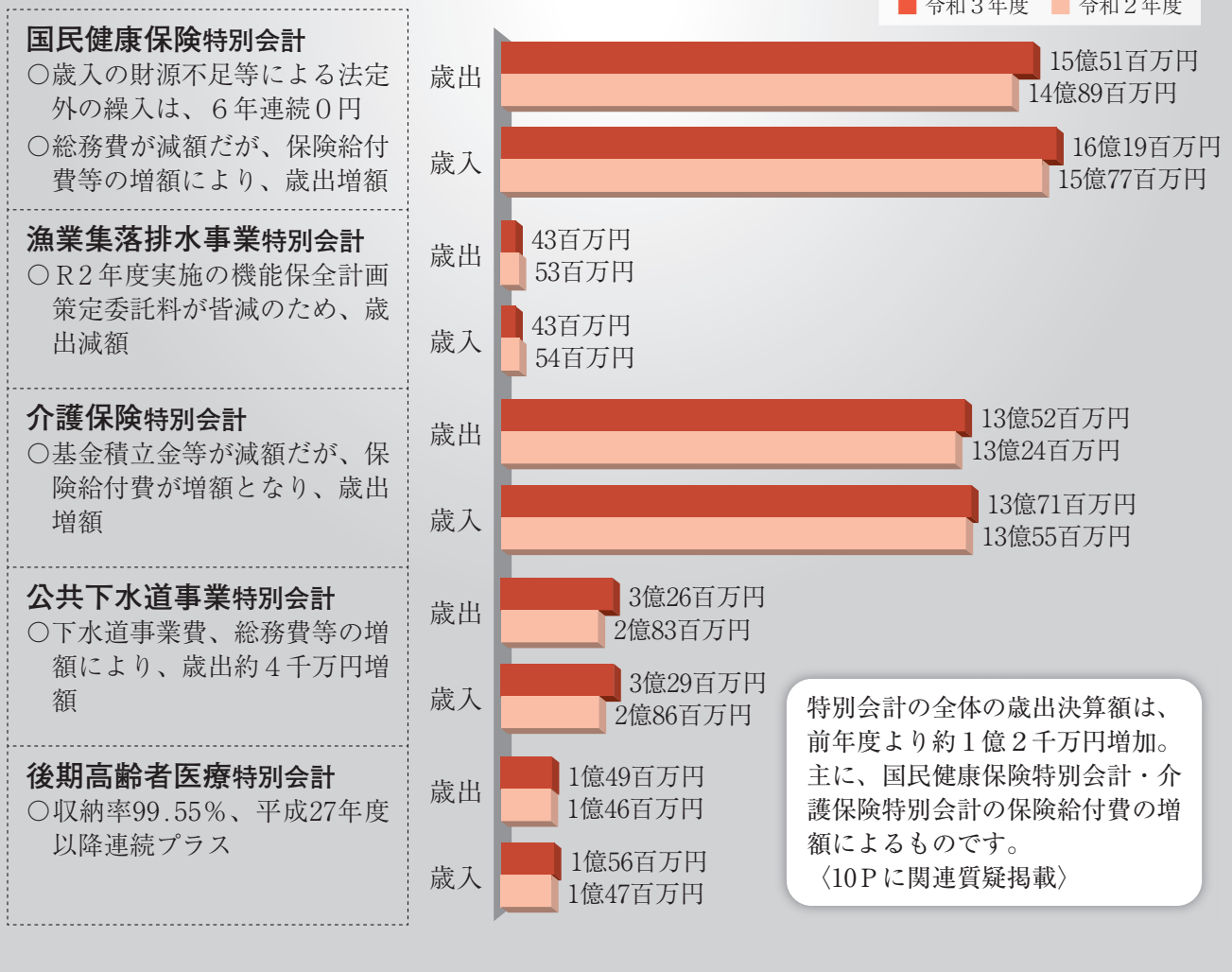


【その他】

- 小舟渡集会所整備事業費 29,689千円
- 第3分団屯所移転新築事業 61,402千円
- 耳ヶ吠・追越線外舗装補修工事 112,046千円
- 道仏小学校スクールバス運行委託料 10,757千円
- PCB廃棄物処理委託料 12,856千円



特別会計 決算〈前年度比〉



▽3年度健全化判断比率・資金不足比率

(詳細は『広報はしかみ』10月号をご覧ください)

- 健全化判断比率 実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため、比率はありません。実質公債費比率は11.2%、将来負担比率は2.5%です。
- 資金不足比率 公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計ともに黒字のため、資金不足はありません。

【監査意見】

町民・議会・行政が 一つとなった財政運営を

代表監査委員 三上孝八
監査委員 小松雅彦

▽一般・特別会計
3年度一般会計・各特別会計の予算の執行および事務処理は適法かつ適正な決算であると認める。

歳入面では、自主財源の根幹である町税は、新型コロナウイルスの影響等で減額となったが、収納率が増加し、収納施策の効果が現れる。

歳出面における増額の主なものは、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金等、減額の主なものは、庁舎エアコン整備事業等である。これらの事業は新型コロナウイルス感染症に関連した経済対策等の事業であり、コロナ禍が町民の生活に大きな影響を与えている。

歳出面における増額の主なものは、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金等、減額の主なものは、庁舎エアコン整備事業等である。これらの事業は新型コロナウイルス感染症に関連した経済対策等の事業であり、コロナ禍が町民の生活に大きな影響を与えている。

▽財政健全化指標
昨年と同様に財政の健全化が保たれている。今後もこの状況を維持することを切望する。

一般会計
補正予算
オミクロン
株対応

新型コロナウイルス接種に
3117万5千円
1億9577万4千円を増額補正

▽4年度一般会計補正予算(第3号)

1億9577万4千円を増額補正し、予算総額を6億664万1千円とする。

▽4年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

2117万2千円を増額補正し、予算総額を14億306万6千円とする。

▽4年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

422万4千円を増額補正し、予算総額を3億3862万5千円とする。

▽4年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

1040万円を増額補正し、予算総額を15億3770万5千円とする。

▽4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

636万9千円を増額補正し、予算総額を1億7288万9千円とする。

■条例の一部改正

▽階上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、育児休業の

▽4年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

341万6千円を増額補正し、予算総額を5048万1千円とする。

取得回数制限の緩和及び非常勤職員の育児休業の取得柔軟化等について、所要の改正を行うための一部改正。

▽階上町東日本大震災復興基金条例を廃止する条例の制定

階上町東日本大震災復興基金条例を廃止するため。

■その他

▽人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

委員の辞任に伴う後任の委員の候補者の推薦について、田村雅樹氏の推薦に同意。



一般質問

ここが聞きたい

第6回定例会では4議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■ 森 榮吉 議員 6ページ

- 1 婦人会を始めとする組織の弱体化対策について
- 2 林業の振興対策について
- 3 役場職員に対する綱紀粛正の具体的な取組みについて

■ 長根 岩夫 議員 7ページ

- 1 旧大蛇小学校の跡地利用等について
- 2 漁業振興と磯焼けについて
- 3 地域おこし協力隊について

■ 大下 修 8ページ

- 1 第2次協働のまちづくり地区計画について
- 2 町税の収納状況について
- 3 令和4年度に新たに実施する子育て支援事業について

■ 松尾 國治 議員 9ページ

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 2 公衆トイレの整備について
- 3 ハマの駅「あるでい〜ば」に対する町長の思いについて



森 議員

婦人会を始めとする組織の弱体化対策は

〔町長〕 関係機関とも連携し会員不足解消に努めたい



連合婦人会による健康体操
～令和元年度の町民運動会～

問① 連合婦人会の解散や単位婦人会の解散、休止。また体協や老人クラブもリーダーや会員不足に悩んでいる。これらの組織の現状、会員数及び年齢構成、主なる活動内容、さらに組織の維持・強化のための町の考えを伺いたい。

答① 町長

老人クラブは、昭和40年に連合会が設立され、9単位クラブあったが、現在は7単位クラブで213名、活動の中心は70代、80代である。長寿社会の実現と健康福祉向上のため、町社会福祉協議会とも連携し、会員数の維持及び増加に努めたい。

教育長

連合婦人会は今年4月30日をもって解散となった。885人もいた会員が最後は107人と伺っている。単位婦人会は、9団体あったものが現在3団体となり、地域行事の手伝い等、できる範囲

内での活動を続けている。今後は、単位婦人会に目を向け、町のイベント等に協力を願うと共に、会員以外にも声を掛け参加者を増やしたい。

体育協会は、現在9支部と18種目の競技協会が存在。町民大運動会等に協力を頂いてきた。しかし、町内駅伝は参加者を探すことが困難となり、令和2年度で廃止。運動会は、出場制限の緩和等、負担軽減を検討中。

問② 担い手等の不足は否めない。

現在の枠を超えた組織づくり、統廃合も考えては。

答② 教育課長

町民運動会は種目変更や年齢枠の拡充等見直しを図っている。組織づくりは区長、支部長と連携しながら進めていきたい。

介護福祉課長

関係機関と協議しながら入会、活動し易い環境づくりを検討したい。

林業の振興対策は

〔町長〕 令和5年度から譲与税を活用し林業の基盤づくりを進める

問① 森林環境譲与税は、現在基金に積み立てている。この使い道も含め、これからの林業振興策について伺いたい。

答① 町長

環境譲与税は主に森林整備等に活用することに

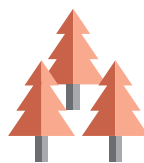
なっている。合せて森林経営管理法も施行され、森林所有者に適切な経営管理を促し、管理できない場合は町が管理することになった。令和5年度からの譲与税の有効活用に向け制度設計に取り組みしている。森林資源の有効利用等の基盤づくりを

推進したい。

問② 限られた財源を活用し、手入れの困難な森林の整備につなげてほしい。

答② 産業振興課長

譲与税活用に関して森林所有者の意向を踏まえ、有効活用できるように取り組んでいきたい。



役場職員に対する綱紀粛正の具体的な内容は

〔町長〕 研修を受講させ公務員の高い倫理観の不断の意識付けを徹底させる

問① 林野火災に関する不祥事について、町民にも大きな衝撃を与えたところである。信頼回復に取り組み具体的内容について伺いたい。

答① 町長

このような過ちを繰り返すことは絶対許されものではなく、今後の取り組みとして、勤務時間外であっても公務員としての自覚を常に持ち、服務規程の遵守、職員相互の連携等の対策に加え、各

種研修の受講により、不断の意識付けを徹底し、信頼の回復に努める。

問② 高い意識を持ち、日常業務に精励してほしい。心構え、決意は。

答② 総務課長

不祥事の最も大きな要因は公務員としての自覚の欠如だと考える。今後は今ままで以上に高い意識を持ち、職務に精励し、信頼回復に努めて行くことを約束する。



市長 根 議員

旧大蛇小学校の跡地利用の内容は

〔町長〕 誘致企業の食品工場に活用



改修工事中の旧大蛇小学校

- 問①** 旧大蛇小学校の跡地利用について伺う。
- 答①** 町長 誘致について食品加工業者1社の応募があり、審査の上決定している。①町との契約後、改修工事に着手、事業開始は本年12月1日を予定。②旧校舎は農産物の食品加工場等として使用し、体育館は原材料の保管等に活用予定。③製造員15人程度募集予定。④建物解体の見積りは約1億200万円であったが、その費用が不要となる見込み。
- 問②** ①旧大蛇小学校校庭の敷地活用に。②加工場の製造員の募集方法は。
- 答②** 総合政策課長 ①地域の方々の交流の場として、謝恩イベント

- 問③** 今回応募がなかった旧小舟渡小学校の跡地利用と今後の対応について。
- 答③** 総合政策課長 地域活性化のために募集要項の内容を精査し、再募集の検討を行う。
- 問④** 地域おこし協力隊の活用は
- 答④** 町長 地域おこし協力隊を円滑に導入するため、現在は共育型インターンシップ事業を実施。大学生を交流や事業立案などを目的に、令和3年度は大学生

- 〔町長〕 漁業振興と磯焼けの対策は**
- 問①** 漁協など関係機関と一体となって、県事業で藻場の再生に取組む
- 答①** 町長 ①ハマの駅の収益面において、町の負担が大きい。将来に向け、改善についての考えを伺う。②海中の藻場が白化し魚介類の成長に影響している。町の漁業振興と磯焼け対策の支援について伺う。
- 問②** 特定漁港漁場整備事業の事業計画について伺う。
- 答②** 産業振興課長 太平洋沿岸の資源増大と効率的な漁獲にむけ、産卵や稚魚の育成場となる藻場や漁礁、漁場等を東通村から階上町まで整備するもので、令和10年度までの計画となっている。

- 〔町長〕 共育型インターンシップ事業を展開し、地域の体制等を整えて導入する**
- 問①** 地域おこし協力隊は
- 答①** 町長 地域おこし協力隊を円滑に導入するため、現在は共育型インターンシップ事業を実施。大学生を交流や事業立案などを目的に、令和3年度は大学生
- 問②** 共育型インターンシップ事業の学生の生活状況や成果等について伺う。
- 答②** 総合政策課長 農家民泊をしながら、





大下 議員

第2次協働のまちづくり地区計画の進捗状況は

〔町長〕 前期計画を検証し後期計画へ反映させる



環境美化活動 ～ゴミ拾い～

問① 今年度は、第2次計画の前期最終年度で、後期計画を策定することになっているが、現在の進捗状況と前期計画の検証、見直し方法について伺う。

答① 町長

4月に開催した区長会議において、前期で計画していた事業の進捗状況の確認と新規事業の洗い出しをお願いしており、事業が完了、後期計画へ継続、前期で不要、新たに追加の分類表に基づき、各行政区で実施している。この作業で過去の検証ができ、これから必要なことが後期計画へ反映されていくと考えている。

問② 町民と行政、議会の連携が大事、今後のスケジュールと連携について伺う。

答② 総合政策課長

地区での前期事業の検証と洗い出し作業は、9月末までに提出いただく

予定。その後担当課で整理し、各地区の区長を始め、代表者の方々と内容の確認を行い、確定した段階で総会に諮り完成となる。完成後開催される議員全員協議会で報告したい。



母子手帳アプリ

問① 結婚新生活支援事業、産婦健診検査委託事業、子育て支援アプリ情報配信サービス導入事業の事業概要と進捗状況を伺う。

答① 町長

結婚新生活支援事業は、婚姻により新生活の経済的な負担の軽減を図るため、4月から実施。年齢

町税の収納状況等は

〔町長〕 収納方法はコンビニ収納と口座振替の割合が増加

問① 近年高い収納率を確保しているが、直近3年間の収納状況と令和3年度の収納方法別の割合を伺う。

答① 町長

直近3年間の、個人町民税の現年度分の収納状況は、令和元年度は99・03%、令和2年度及び3年度は、99・10%である。

問② 地方税統一QRコードの活用について本町の対応状況は。

令和4年度新規事業の子育て支援事業の進捗状況は

〔町長〕 子育て支援アプリは10月中旬から運用開始予定

や所得制限等の条件の下、周知に努める。1世帯あたり30万円を上限とし、住宅費や引っ越し費用等に活用いただける補助金。産婦健康診査事業は、出産後間もない時期の産婦に対する、健康診査の費用を助成するもの。2週間で、2回目は産後1か月前後に出産された医

答② 税務課長

国の地方税収納効率化、電子化に向けた取組みで、令和5年度から地方税統一QRコードを付すこととなる。本町では、固定資産税及び軽自動車種別割について、令和5年度から納付書にQRコードを印刷するため、今年度システム改修などの準備を進めている。他の税目についても順次活用できるように作業を進めていきたい。

療機関で受診することとなる。子育て支援アプリ情報は、スマートフォン等に対応した母子健康手帳の機能や子育て情報発信機能を備えたアプリのサービスを提供するもので、10月中旬から運用を開始する計画。妊娠期から中高生の時期に至るまで活用できる。転出後も導入済み自治体であれば使用可能。



松尾 議員

ワクチン接種の現状、今後は

〔町長〕 9月末までに4回目接種終了、オミクロン株対応ワクチン届き次第、接種開始予定



集団接種の様子

問①

ワクチン接種について伺う。

① 5歳から11歳児のワクチン接種は、全国でこれに反対する方々も多いが努力義務を含め本町の現状は。② オミクロン株に対応したワクチンの町の今後の予定は。

答①

町長

① ワクチンの効果と反応のリスク、双方を理解の上、希望する児童が、町内医療機関での個別接種やかかりつけ小児科での同時接種が可能。4月には集団接種も2回実施した。今後は努力義務が適用されたため、9月中旬を目処に、未接種者に対し、個別に接種勧奨を進める。また、2回目接種を終えた児童にも3回目の接種券を送付する準備を進める。② 4回目接種は9月での終了を見込んでいたが、厚生労働省より、オミクロン株対応ワクチンの接種体制の準備をするよう指示があった。2回目接種を終えた

12歳以上の町民が接種できるよう、予算や会場を確保する。9月下旬にワクチンが届く予定なので、届き次第接種を開始したい。

問②

5歳から11歳児のワクチン接種率は。

答②

すこやか課長

8月29日現在、1回目接種率51・4%、2回目の1回目接種率19・5%、2回目接種率17・9%と比較して高い。

問①

町内には、すぐにも建替え

の必要なトイレがある。特に荒谷生産部会監視所付近にあるトイレは、町で最も古いので、町の整備計画もあると思うが、早めに進めて欲しい。

答①

町長

公衆トイレを含む建物系施設等の中長期的な維

ハマの駅あるでいしばに對する町長の思いは

〔町長〕 町の重要な観光施設の一つ、より一層の水産振興を図る

問①

町長は議員時代、ハマの駅あ

るでいしばについて、計画当初から反対だったと認識している。先行きが案じられるので、町長になつた現在の思いを伺う。

答①

町長

当時、地元建設される施設ということで、関心を持って、見守ってきたところである。現在も、町の重要な観光施設の一つであり、漁業者の所得

向上につながる拠点として、今以上に漁業者や水産関連業者に活用していただきたい施設と考えている。また、多くの皆様にご来場いただくため、現状を検証しながら、さまざまな工夫と適正な施設管理が必要ではないかと考えている。今後も関係者と連携しながら、効果的な運営を目指し、より一層の水産振興を図ってまいりたい。

公衆トイレの整備は

〔町長〕 毎年の施設点検により適正管理を図りながら検討

持更新費用の標準化を図ることを目的に、階上町公共施設等個別施設計画を策定し、この計画に基づき維持管理を行っている。毎年実施する施設点検により、施設の現状を的確に把握し、適正な維持管理を図り、更新時期や施設の規模、設置場所等、財政状況や他施設と

問②

近くにある追越漁港は釣り船

も本町で一番多く、出帰港時のトイレ事情も問題になっているので、移転も視野に検討してはどうか。

答②

産業振興課長

更新時期や施設の規模、設置場所等については、財政状況や他の施設との調整を勘案しながら検討していきたい。



質疑あれこれ

第6回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

3年度決算の認定

畑山真也議員

◆国民健康保険特別会計、介護保険特別会計の保険給付費

問 令和2年度と比較し、国民健康保険特別会計と介護保険特別会計の保険給付費が、増加した理由は。

答 すこやか健康課長 全国と同様に、コロナ感染拡大の影響による受診控えで、元年度及び2年度の給付費が減少していた反動によって増加したと考える。

答 介護福祉課長 コロナ感染症の影響により減少傾向だった新規要介護認定申請が、3年度増加し、それに伴い要介護認定者の増加したことが考えられる。

下沢育男議員

◆ふるさと応援寄付金推進事業費

問 ふるさと応援寄付金における推進事業費は、寄付総額の約半分で推移、国の制度的制約や町独自の基準があるのか。



返礼品の煮アワビ、南部和帚(ぼうき)

答 総合政策課長 返礼品等の調達に要する費用の額は、寄付金額の100分の30に相当する金額以下、さらに寄付金の募集に要する費用の額との合計額は、寄付金の額の合計額の100分の50に相当する金額以下と定められている。本町は、合計43・8%で適正に運用している状況である。

長根岩夫議員

◆緊急通報体制等整備事業委託料

問 この制度の利用者の負担や状況、どういう経路で緊急通報の体制は作られているのか。緊急事態の活用実数は。



福祉安心電話

答 介護福祉課長 緊急通報装置は福祉安心電話と呼ばれ、利用者の安否確認等を行っている。緊急ボタンは、具合が悪くなった時などに協力員の方へ駆けつけの要請、消防車、救急車の手配がされる。相談ボタンは日頃困っていること等、福祉サービスの相談に対応できる。電話機を使用するため月額200円の負担となっていて、利用者は3年度末12人。活用実数は、令和2年度2件、3年度1件。

4年度一般会計補正予算

大下 修議員

◆住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金

問 6月の補正予算と同様の給付金なのか、対象者、給付時期は。

答 介護福祉課長 同様の給付金である。令和4年度新たに非課税となった世帯、家計急変世帯が対象。7月下旬から給付金の支給を行っている。

◆子育て世帯臨時特別給付金

問 給付の内容、対象人数、給付期間は。

答 すこやか健康課長 県の子育て世帯臨時特別給付金給付事業となり、子育て世帯に対して、臨時特別の給付措置として支給する。0歳から18歳までの児童を養育する保護者等が対象、所得制限限度額を超えた世帯は対象外となる。児童手当支給世帯は原則申請不要で、10月下旬に支給予定。それ以外の対象世帯の申請期限は令和4年12月31日まで。

小坂正年議員

◆マイナンバーカード申請サポート等

問 マイナンバーカードの健康保険証以外の使い道、手続きの方法、町民へのPRは。

答 町民生活課長 健康保険証以外に、身分証明書、更に電子証明書の登録で様々な行政サービスに使える。例えば、転出・転入の届出が、マイナンバーの申込によりワンストップ化が図れる。令和5年1月稼働予定。手続きについては、町民生活課窓口で証明写真撮影等のサポートを行っている。町のホームページ、9月号の広報等でPRしている。

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	祝金	10月1日	にんにくとべごまつり	5,000円

議会活動

8月

3日 町国保運営協議会
29日 議会運営委員会

9月

2日 県民駅伝大会結団式
3日 リアス・ハイウェイ完
成記念八戸大会
6日 第6回定例会本会議
6日 議員全員協議会
7日 第6回定例会本会議
9日 第6回定例会本会議



21日 八戸地域広域市町村圏

事務組合議員全員協議
会

22日 秋の全国交通安全運動

に係る町街頭広報活動

30日 八戸地域広域市町村圏

事務組合議会定例会

10月



1日 にんにくとべごまつり

4日 町表彰審議会

7日 議会だより編集委員会

18日 郡町村議会議員研修会

20日 議会だより編集委員会

25日 県議長会正副議長・事

務局長研修会

28日 議会だより編集委員会

三戸郡町村議会議員研修会

10月18日、新郷村で開催された「三戸郡町村議会議員研修会」に、議員13名が参加。

- ◆講師 新郷村教育振興協議会
会長 福山 廣氏
- ◆演題 「人生、悔りがたし」



県議長会正副議長・事務局長研修会

10月25日、青森市で開催された「県議長会正副議長・事務局長研修会」に、正副議長、議会運営委員会委員長、各常任委員会委員長が参加。

- ◆講師 前衆議院議長 大島 理森氏
- ◆演題 「地方自治の重要性とわが郷土について」



田端清元議員逝去

元町議会議員の田端清さん(92)が、9月12日、ご逝去されました。昭和58年4月から20年間、議員として、町の発展に尽力されました。

ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈りいたします。

議会だより編集委員会

◇今月号の編集委員(3人)

- ・大江 和夫 議員(産業建設)
- ・林 貢 議員(教育民生)
- ・小坂 正年 議員(総務財政)





アスナ公園の草刈り

Q 荒谷行政区はどこなところですか。

A 役場と海岸の中間に位置しますが、6つの集落（荒谷、程熊、松森、笹山、天当、法師窪）に分散され、世帯数の割には範囲が広く、海岸から離れていても魚介類を採れる浜の権利、荒谷生産部会（組合員加入者）を有しています。また、地区には江戸時代から近郷近在の人々の信仰を集め

Q 第2次地区計画の主な取り組みは。

A 地区内のゴミ収納庫や掲示板の更新などを行い、環境整備を図りながら、併せて防災訓練を計画的に実施し、安全で安心して暮らせる町づくりに努めていきたいと思えます。

また、大蛇小学校の閉



大蛇海岸（荒谷部会）に浮かぶ男島

町では、平成30年度より、19の全行政区で第2次地区計画を策定し、協働のまちづくりが進められています。

計画期間は、平成30～令和9年度の10年間で、30年度から前期計画がはじまりました。

今回は、荒谷行政区の境区長にお話を伺いました。



境区長

Q 区長になったきっかけは？

A 当地区は、昭和22年から名士の方々が、持ち回りで区長を務めておりましたが、高齢化や家庭の事情により、区長を引き受けることが難しく



荒谷虚空蔵菩薩堂

なつたため、平成29年4月から前任者の区長が勇退することになり、総会で推薦をいただき、現在2期目となります。

Q 第1次地区計画では、どんなことを行いましたか。

A 地区住民は、昔からの良き繋がりをもち、環境保全の奉仕活動や魚介類の育成保護作業等を共同で行っております。

自主防災訓練活動では、荒谷・大蛇・追越の三地区合同で、関係者の指導と協力により訓練を行うことができました。今後も新型コロナウイルスの感染状況を見ながら地区住民の防災意識の高揚を図っていきます。

Q 議会や議会広報への意見・要望はありませんか。

A 議会や行政そして町民とは、相互信頼による町づくりに努めていただきたいと思えます。

（ご協力ありがとうございました。）

未来への継承「里地・里山」と「海」深まる絆

た「荒谷虚空蔵菩薩堂」があります。

校と階上保育園の移転新築により、大蛇三地区住民の連帯の希薄化が心配されますので、老若男女を問わず楽しめるイベント等を開催したいと思っています。

校と階上保育園の移転新築により、大蛇三地区住民の連帯の希薄化が心配されますので、老若男女を問わず楽しめるイベント等を開催したいと思っています。

編集後記

新型コロナウイルス、インフルエンザが同時流行の兆し、町民の皆様気をつけてください。

私達も、コロナウイルス、インフルエンザに負けないように階上町のために頑張っています。

（大江・林・小坂）

議会傍聴者数 (延べ人数)

- ・第6回定例会
(令和4年9月)
9月6日(4人)
9月7日(10人)
9月9日(4人)

議会を傍聴しませんか

議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。
(新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただいております。)